

# 営農ウィークリーNEWS

向島野菜出荷研究部

## 特産品『レタス』をPR



向島支店管内の向島野菜出荷研究部が、4月2日（日曜日）に、京都市伏見区にある種智院大学構内で開催された「ふれあい市&フリーマーケット」会場内で、向島地域の特産品である「レタス」を来場者（先着50名限定）に無償で振る舞われました。

「ふれあい市&フリーマーケット」は、毎月第一日曜日に開催されており、9回目となる今回は、旬を迎える地元特産品「レタス」のPRがメインイベントとして企画されました。

当日は、新鮮な農産物を求める来場者で、開始前より行列ができ、大盛況で終えました。

また、同時開催されたフリーマーケットや、地元農家が手作りした米粉シフォンケーキの販売、伏見区のゆるキャラ「伏見もも丸」が来場し、会場を賑わせました。

次回は、5月7日（日曜日）11時～15時、種智院大学構内にて開催されます。

ぜひ、ご来場ください♪♪

### 菌核病に注意しましょう！！ -TAC information (●●) ii!! TAC



白いカビが特徴です！

キャベツやレタスなどの農作物で、この時期注意しなければいけない病気の 하나가 『菌核病』 です。

窒素成分を多く施用したことにより作物が軟弱に育ったり、栽培圃場での過湿条件などで発生します。

ハウス栽培では換気、露地栽培では水が溜まらないよう排水するなど注意し、発病株を発見したら直ちに圃場の外へ持ち出しましょう。

また、薬剤散布による予防や、適正な肥培管理に努めましょう。

JA京都中央 平成29年4月4日No.338 作成者 上田 由里子

# 塩水選と種子消毒

## 1 塩水選

1) 食塩水で塩水選を行う。

	比重	水 (ℓ)	食塩の量 (kg)
うるち	1.13	10	2.0
もち	1.08	10	1.2

2) 塩水選後は水洗いを行う。

## 2 種子消毒

1) 消毒液の作成

イネシガラセンチュウと同時防除をする場合は、殺菌剤の希釈水量にスミチオン乳剤を1000倍になるよう混用液をつくり浸漬する。

※殺菌剤テクリードCとの混用液の作り方(例) [種もみと同容量以上の水量(1:1以上)にする]

種もみ	水量	殺菌剤		殺虫剤
		テクリードC	倍率	スミチオン乳剤
3kg(6ℓ)の場合	6ℓ	30cc	200	6ccを左の200倍液に加え1000倍とする。
5kg(10ℓ)の場合	10ℓ	50cc	200	10ccを左の200倍液に加え1000倍とする。

2) 浸漬(24時間)

消毒液は10~15℃の範囲で行う。

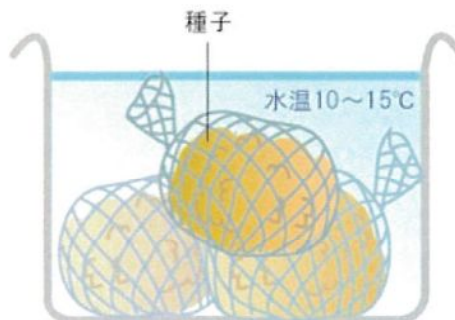
種もみは網目の袋に入れ、浸漬中に1~2回上下入れ替えを行い、よく攪拌を行う。

※消毒液は、5回程度は連続して使用ができる。

3) 消毒液の水切り

もみを取り出し、自然落水で水切りを行う。

4) 風乾処理はしなくてもよい。



(図 みんなの農業広場より)

## 3 種子の浸漬(芽出し)

1) 消毒した種もみを種もみの量の2倍程度の水に浸漬する。3~4日目で水を1度交換する。

2) 15℃で7日程度、20℃で5日程度でハト胸状態となる。幼芽が1ミリ以内で播種を行う。

